

降下訓練における場外（羽村市）降着について（要請）

令和7年11月18日夕方、米陸軍兵士が横田基地所属のC-130輸送機による降下訓練において、区域外（羽村市）に着地する事態が発生した。

降下訓練における場外降着等は、一步間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、基地周辺住民に多大な不安を与えるものである。

横田基地においては降下訓練が度々行われており、これまでに発生したパラシュートやフィンの基地外への落下事故と同様の事故を防止すること等を要請してきたにもかかわらず、こうした事態が発生したことは、遺憾である。

貴職においては、このような状況を十分認識され、原因究明を行い、再発防止と安全確保に努めるよう、次のとおり要請する。

- 1 今回の場外降着の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと。
- 2 訓練を再開する場合は、事前の情報提供及び安全確保について、更なる徹底を図ること。
- 3 横田基地所属以外の部隊による同様の訓練は行わないこと。
- 4 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和7年11月25日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニー大佐 様

福生市議会議長

佐 藤 弘 治

横田基地対策特別委員長

清 水 義 朋